

平成22年8月20日
介護給付費分科会

全室個室とユニットケア

社団法人全国老人保健施設協会

老健施設の混合型施設に対する評価は、
ユニットケアへの取り組み、ケアの質の向上を
目指したものとして積極的に評価すべきである

全室個室の推進のためには、
施設整備のための財源確保が必要である

ユニットケア推進のためには、
介護報酬上でそのケアの質の評価が必要である

混合型ユニットケア(一部ユニット型介護 老人保健施設)について

住まいの機能である特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)については全室個室推進のながれがあることは理解する。老人保健施設については在宅復帰施設という役割から、必ずしも全室個室ユニットの必要性はないのではないか。

指定(開設許可)は都道府県知事によるが、開設から4年も経過していれば、当然厚労省も把握していたはずであり、平成18年から混合型で指定(開設許可)を受けた施設が出ている。

(社)全国老人保健施設協会としては、厳しい経営環境の中で、個室化を推進し、かつ、ユニットケアに取り組み、質の高いケア提供の試みとして、積極的に評価しているところである。

(社)全国老人保健施設協会の三大事業

急性期医療の変貌、85歳以上の利用者の増加、家族や地域の介護力の変容等による入所期間の長期化という背景が存在するとしても、第二特養化という批判については甘受せざるを得ない面も存在する

ケアマネジメントシステムの構築(R4システム)による地域包括ケア・施設ケアの質の向上

認知症も含めて、利用者の時系列的な状態像変化を把握するための研究事業(コーディング研究班)

介護職等人材確保のための処遇改善事業としての各種研修・教育事業の展開

住まいにおける個室化は、着実に推進すべき課題である

しかし、経営基盤が脆弱で全室個室化が困難という現状がある

同時に、ユニットケアへの取り組みによるケアの質の向上も推進すべき課題である

ユニットケアは少人数処遇による個別ケアの質の向上を目指すマネジメント技法である

老健施設の経営の現状

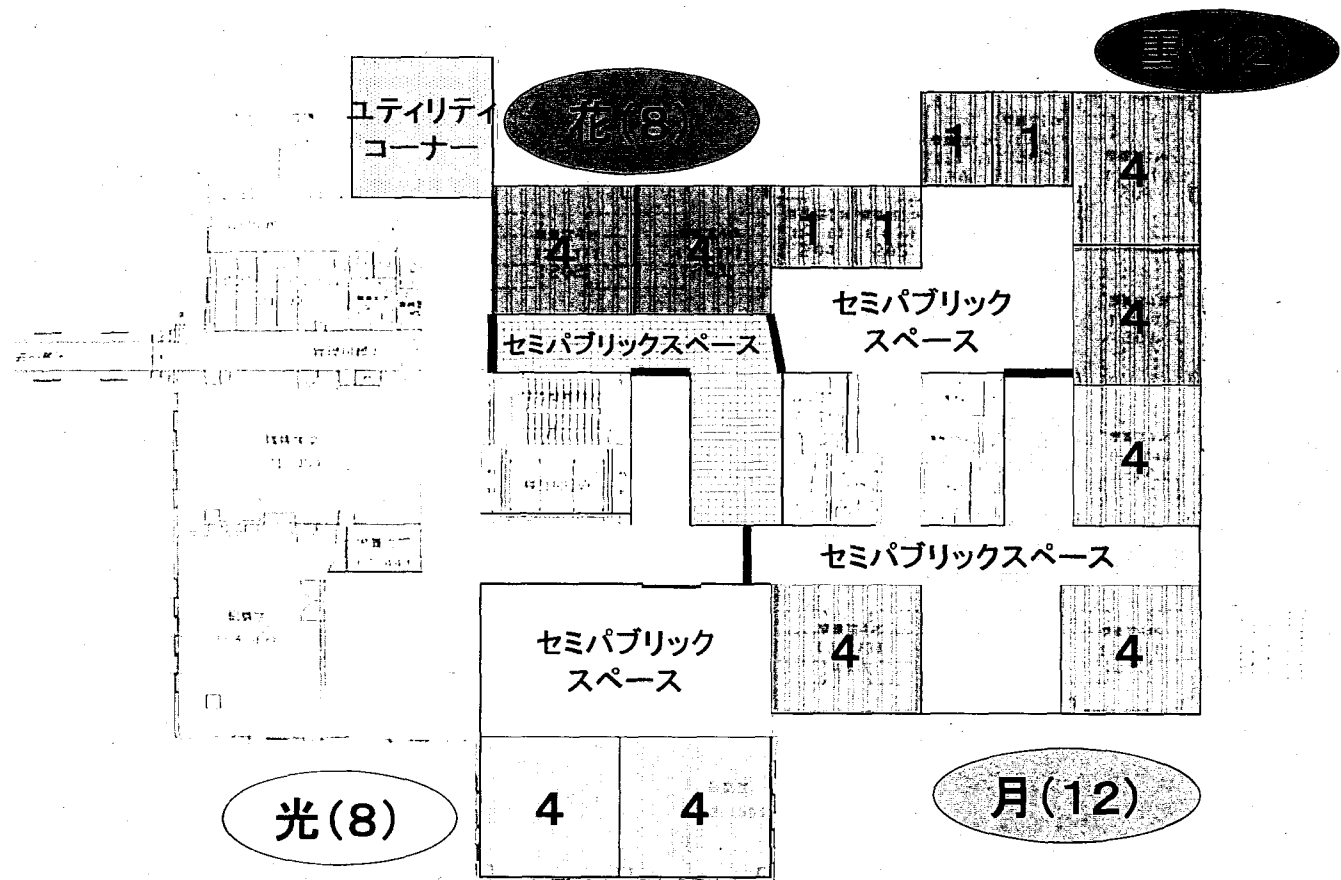
		平成19年度 全体 (平均定床数: 91.8床) 通所定員: 35.4					平成20年度 全体 (平均定床数: 93.1) 通所定員: 36.3						
		答 数回	円(平 均)千均	比 率%	減年対 額増前	年対 比前	答 数回	円(平 均)千均	比 率%	減年対 額増前	年対 比前		
収入の部 (単位: 千円)	入所事業収益	951	325,464	81.7%	13,074	104.2%	877	326,614	81.6%	1,150	100.4%		
	(入所+短期入所)	939	64,266		-11,268	85.1%	877	68,775		4,509	107.0%		
	通所リハビリテーション	924	66,612	15.3%	1,888	102.9%	877	66,768	15.2%	156	100.2%		
	訪問リハビリテーション等	894	6,299		-2,391	72.5%	877	7,062		762	112.1%		
	その他の介護事業外収益	595	11,917	3.3%	10,324	748.3%	877	9,605	2.7%	-2,311	80.6%		
	受取利息	490	1,452		1,252	726.0%	877	1,139		-313	78.4%		
	上記以外	893	369		-5	98.7%	877	327		-42	88.7%		
	老健全体の収益合計	935	10,622		-1,203	89.8%	877	10,731		108	101.0%		
	老健全体の介護報酬収益計	-	403,993		14,838	103.8%	-	402,988		-1,005	99.8%		
	上記以外の利用料収益計	-	72,017		-14,321	83.4%	-	76,975		4,958	106.9%		
上記収益合計		951	477,253	100%	1,759	100.4%	877	484,468	100%	7,215	101.5%		
支出の部 (単位: 千円)	介護事業費用	給与費(人件費)	951	257,439	53.9%	1,271	100.5%	877	265,509	54.8%	8,071	103.1%	
		材料費	うち、給食用材料費	859	20,303	4.3%	-3,774	84.3%	877	16,992	3.5%	-3,312	83.7%
			給食用材料費以外の材料費 (医療・薬剤・衛生材料等を含む)	948	14,697	3.1%	-5	100.0%	877	14,936	3.1%	239	101.6%
		経費	うち、光熱水費	943	19,127	4.0%	619	103.3%	877	19,664	4.1%	538	102.8%
			光熱水費以外の経費	940	46,665	18.1%	-	-	877	41,716	15.7%	-4,949	89.4%
		委託費(外部委託人件費等)	933	39,289	8.2%	3,628	110.2%	877	40,946	8.5%	1,657	104.2%	
		減価償却費	937	30,985	6.5%	788	102.6%	877	28,786	5.9%	-2,200	92.9%	
	上記以外の経費	749	14,089	3.0%	-39,470	26.3%	877	15,873	3.3%	1,784	112.7%		
	介護事業外費用	支払利息	913	11,011	2.3%	-1,635	87.1%	877	9,388	1.9%	-1,623	85.3%	
		介護事業外費用	792	6,020	1.3%	-2,854	67.8%	877	5,272	1.1%	-748	87.6%	
	老健全体の費用合計		951	449,954	94.3%	5,629	101.3%	877	457,565	94.4%	7,611	101.7%	
	経常損益		951	27,136	5.7%	290	101.1%	877	27,275	5.6%	138	100.5%	
減価償却前利益率				12.2%					11.6%				
退職金に充当するため、中退協・保険会社等で積立を行っている場合		522	18,129				489	54,108					

年度末	短期借入金	717	21,347
借入金残	長期借入金	938	462,114
単年度の	元金返済額	901	54,519
元金返済	返済のために新たに借入を行なった場合の借入	617	15,738

		663	20,008
		871	407,189
		828	48,674
		563	10,315

回廊型から改修型ユニットへ

多床室ユニットケアへの試み



改修型ユニットケアと人員配置

2つのユニットに一人の夜勤職員⇒
勤務表を組むと人員配置はほぼ2:1

安心・安全のための最
低限の夜勤職員の配置

3階フロア:40床
(4つのユニット)

ケアスタッフ
2人

2階フロア:40床
(4つのユニット)

ケアスタッフ
2人

管理スペース
相談室・診察室

1階フロア:20床
(2つのユニット)

ケアスタッフ
1人

看護職
1名

ケアマネジメント・システム

フロアごと、ユニットごとの機能分化

職員の教育・研修